コースコード：CT-N465
税込価格：132,000円 (税抜価格：120,000円)
日数：2日間

ここに注目!!

受講対象者
このトレーニングはこのような方におすすめです。

・無線LANに携わるSE/CE

前提条件/前提知識
このコースを受講する前に受講者が習得しておく必要がある知識およびスキルは次のとおりです。

・「ネットワークファーストステップ」コースを修了、または同等の知識を有している方

目的
このコースを修了すると次のことができるようになります。

・求められる無線LAN要件を理解し、適切な伝送規格、セキュリティ方式、その他必要な機能を選定することができる
・無線LAN導入前の電波環境調査(サイトサーベイ)を実施することができる
・WPA/WPA2エンタープライズモード(IEEE802.1X/EAP認証)を導入することができる

アウトライン

1. 無線LAN概要
・無線LANとは
・無線LANの規格（IEEE & Wi-Fi）
・無線LANの構成要素
・SSID
・チャネル
・CSMA/CA
・RTS/CTS
・無線LANの高速化技術
−MIMO/SDM
−チャネルボンディング
−フレームアグリゲーション
・IEEE802.11アソシエーション

2. 無線LANのライフサイクル
・「計画」フェーズ
・「設計」フェーズ
・「構築」フェーズ

・「運用」フェーズ
・無線LANの管理設定
・集中管理型無線LANの特徴

3. トポロジ設計
・物理トポロジ設計のための事前調査
・2.4/5GHz帯の相違点
・適切な周波数の選択
・AP数の検討
・チャネル設計
・サイトサーベイ
・論理トポロジ設計の評価基準
・論理トポロジ設計例

4. セキュリティ対策
・無線LANの脅威
・技術面の対策
−APステルス機能（SSID隠ぺい/ANY接続拒否）
−MACアドレスフィルタリング
−WEP
−WPA/WPA2パーソナル（PSK認証）
−WPA/WPA2エンタープライズ（IEEE802.1X/EAP認証）
・管理面の対策
−電波の伝搬範囲の適切な設定
−ログの収集・保存・分析
−電波状況の監視
・「計画/設計/構築/運用」の各フェーズで実施すべきセキュリティ対策

※テキスト、演習資料は紙を使用いたします。
※コースカリキュラムは予告なく変更となる可能性があります。